

第77回中部日本高等学校演劇大会愛知県大会 実施要項

中部日本高等学校演劇連盟 愛知県支部

- 1 名称 第77回中部日本高等学校演劇大会愛知県大会
- 2 主催 中部日本高等学校演劇連盟愛知県支部
愛知県高等学校文化連盟演劇専門部 中日新聞社
- 3 後援 愛知県 名古屋市 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会
愛知県私学協会 豊橋市教育委員会
- 4 日程 8月 3日(土) 舞台下見 舞台監督会議 講評委員会 実行委員会
8月 6日(火) リハーサル 講評委員会 実行委員会
8月 7日(水) 開会式 5校上演
8月 8日(木) 5校上演
8月 9日(金) 5校上演
8月10日(土) 4校上演 生徒交流会
8月11日(日) 4校上演 講習会 講評 閉会式
- 5 会場 パティオ池鯉鮒 かきつばたホール
(〒472-0026 愛知県知立市上重原町間瀬口116番地)
- 6 大会基本方針
- A 演劇の原点を見つめよう。
- ・ 私たちが、今、本当に表現したいものは何かを探り当てよう。
 - ・ 創造的で生きた舞台をつくろう。
 - ・ 観客と一体化し、感動を共有しよう。
- B 誰もが参加し、学ぶことのできる大会にしよう。
- ・ 劇を観て感じた何かを大切にしよう。
 - ・ 劇を通して語り合い、感性と技術を高めよう。
 - ・ いろいろな人に見にきてもらえる大会にしよう。
- C みんなの力を合わせて大会を築き上げよう。
- ・ 一人一人の知恵と工夫で常に新しい大会をつくろう。
 - ・ 交流の輪を広げ、みんなの心に残る大会にしよう。
 - ・ 大会で学んだことを明日に生かそう。
- 7 大会スローガン 『 WA!! 』
- 8 内容 上演活動、学習研究活動、批評講評活動を行う。
- 9 運営組織
- (1) 準備委員会 県支部役員 尾張地区顧問 同地区生徒準備委員
- (2) 実行委員会 県支部役員 尾張地区顧問 同地区生徒実行委員
- 10 上演校 愛知県内9地区より選出された23校

1.1 上演校留意事項

- (1) 大会参加費 上演校は大会参加費35,000円を舞台監督会議の日に支払う。
- (2) 上演時間 仕込み15分以内、上演60分以内、撤去5分以内を守る。
- (3) 出演者 自校生以外を使ってはならない。
- (4) 上演資格
 - ①顧問の付き添い
 - ②連盟費、参加費の納入
 - ③上演許可書の提出（創作を除く）
 - ④時間厳守（遅刻の場合、割当時間に算入する）
 - ⑤複数校合同出場を認める（連盟の規定による）
- (5) リハーサル・搬出入
 - ①リハーサルは指定された日に1校19分30秒以内で行う。
 - ②搬出入は指定された時間に行う。
- (6) 舞台監督会議 別紙「舞台監督会議について」を熟読すること。
- (7) 各校別講評
 - ①次の上演の終了後の幕間時に、各校別講評を行う。
 - ②最終公演については、その上演校の幕間終了後に行う。

1.2 講評委員

- (1) 顧問講評委員 愛知県顧問代表5名（名1・名2・名3・尾張・知多）
他県（三重県）顧問代表1名
- (2) 生徒講評委員 各地区代表9名
- (3) 専門家助言者 井上知也（舞台美術家）
渡山博崇（脚本家・演出家）
椎葉星亜（俳優）

1.3 審査

- (1) 中部大会出場校（優秀賞）5校の決定
- (2) 上記以外の上場校より、連盟奨励賞の決定
- (3) 審査は顧問講評委員と生徒講評委員の合議によって行う。
- (4) 審査基準
 - ①脚本 ・脚本を創造しようとする意欲が現れているか。
・脚本の選定が高校生として適正なものであるか。
 - ②演出 ・脚本の理解が正しいか。
・脚本の表現が適切であるか。
・全体の調和がとれているか。
 - ③演技 ・劇の理解に努力が払われているか。
・個々の表現技術が充分であるか。
 - ④美術（装置・照明・効果・衣装・考証を含む）
・全体の効果を上げるための創意工夫がなされているか。
・無駄な労力や費用が払われていないか。
 - ⑤総合 ・全体としての狙いは的確であったか。
・観客に対して深い感動を与えたか。
・上演に際しての協力態度はどうであったか。

1.4 講習会 大会最終日に専門家助言者による講習会を行う

1.5 入場料 無料